

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分		No.	コメント			回答	備考
			開催回	日付	内容		
周辺 地質・地質構造	段丘面	1	第531回	2017.12.8	能登半島では中位段丘 I 面以外の段丘面が認定されているため、それらのデータを用いて、段丘面の高度分布を説明すること。	2021.5.14審査会合	
周辺 地質・地質構造	海水準	2	第531回	2017.12.8	海水準変動について、日本海側の研究事例を説明すること。また、気候変動の調査結果から考察できることがないか検討すること。	2021.5.14審査会合	
陸域 地質・地質構造	富来川南岸断層	3	第531回	2017.12.8	富来川南岸断層の隆起側である福浦港から富来港の間に中位段丘 I 面が分布しないことについて、地形面の成因に関する調査結果をより詳細に説明すること。	2021.5.14審査会合	
陸域 地質・地質構造	富来川南岸断層	4	第531回	2017.12.8	富来川南岸断層に対応する二つの平行したリニアメント・変動地形について、トレンチ調査結果等を詳しく説明すること。	2021.5.14審査会合	
陸域 地質・地質構造	富来川南岸断層	5	第531回	2017.12.8	富来川南岸断層について、重力異常図や既往研究における高位段丘面の分布標高のギャップが見られるため、詳細な検討結果を示すこと。	2021.5.14審査会合	
周辺 地質・地質構造	水準測量	6	第531回	2017.12.8	水準点標高の経時変化等も用いて、近年の地殻変動の状況を加えるなど説明性を向上させること。	2021.5.14審査会合	
周辺 地質・地質構造	物理探査	7	第531回	2017.12.8	重力異常図や空中磁気図といった地球物理学的な調査結果と、断層や地質構造との関係について説明すること。	2021.5.14審査会合	
海域 地質・地質構造	海域	8	第531回	2017.12.8	隆起が認められる地点において、海底地形や海底地質、表層の堆積物がどのような分布、形状になっているのか説明すること。また、それと比較して、隆起に関係しない地点ではどのような違いが認められるのか説明すること。	2021.5.14審査会合	
海域 地質・地質構造	海域	9	第531回	2017.12.8	B1層及びB2層の年代について、平均堆積速度を用いた層厚推定の妥当性を説明すること。	2021.5.14審査会合	
海域 地質・地質構造	陸域	10	第973回	2021.5.14	各断層の評価にあたっては、地質調査等の結果も踏まえ、断層トレースを明確に示すこと。	2021.10.14審査会合	
近傍 地質・地質構造	福浦断層	11	第973回	2021.5.14	福浦断層の北端及び南端の評価について、断層位置を明確に示したうえで、分岐の可能性も含めて、延長位置に連続しないことを確実に説明できるデータを示すこと。	2021.10.14審査会合	
近傍 地質・地質構造	福浦断層	12	第973回	2021.5.14	福浦断層の端部の評価に用いている段丘面については、地質調査データも示すこと。	2021.10.14審査会合	
近傍 地質・地質構造	長田付近の断層	13	第973回	2021.5.14	長田付近の断層周辺の地質図について、根拠としたルートマップを示すこと。	2021.10.14審査会合	
近傍 地質・地質構造	和光台南の断層 高ツボリ山北西方 I 高ツボリ山北西方 II 高ツボリ山東方	14	第973回	2021.5.14	和光台南の断層、高ツボリ山北西方 I リニアメント、高ツボリ山北西方 II リニアメント及び高ツボリ山東方リニアメントについて、地形・地質調査のデータを充実させ、文献が図示するリニアメントに対する評価を記載すること。	2021.10.14審査会合	
近傍 地質・地質構造	高ツボリ山東方	15	第973回	2021.5.14	高ツボリ山東方リニアメントについて、その位置を横断する反射法地震探査のデータも用いて、評価を行うこと。	2021.10.14審査会合	

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分	No.	コメント			回答	備考
		開催回	日付	内容		
近傍 地質・地質構造	基盤島沖断層 兜岩沖断層	16	第973回	2021.5.14	基盤島沖断層及び兜岩沖断層の端部の評価について、断層構造が認められないことを確実に確認した測線まで延長することを含め、再検討すること。	2021.10.14審査会合
近傍 地質・地質構造	富来川南岸断層	17	第973回	2021.5.14	富来川南岸断層の北東端の評価について、断層位置を明確に示したうえで、既往知見との評価の違いも踏まえ、延長位置に連続しないことを確実に説明できるデータを示すこと。	2021.10.14審査会合
近傍 地質・地質構造	富来川南岸断層～ 兜岩沖断層	18	第973回	2021.5.14	海域の基盤岩上面のコンター図を示すこと。	2021.10.14審査会合
近傍 地質・地質構造	海域	19	第973回	2021.5.14	陸上ボーリング調査により確認したKktテフラと対比した海域のB1層が敷地近傍まで連続するとしているが、その根拠に用いた音波探査記録について、No.8.5・S測線だけでなく、海上ボーリングとの対比を行ったNI-10測線を用いて示すこと。	2021.10.14審査会合
近傍 地質・地質構造	段丘面	20	第973回	2021.5.14	能登半島の段丘面高度分布について、水準点標高経時変化、2007年能登半島地震時の地殻変動との関係を含む能登半島西岸のデータをより詳細に分析し、周辺の断層や地震性隆起との関係を総合的にとりまとめること。また、富来川南岸断層南西方の基盤岩の分布標高についても示すこと。	2021.10.14審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	21	第1009回	2021.10.14	福浦断層南部の改変前の地形データを示すこと。	2022.1.14審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	22	第1009回	2021.10.14	福浦断層南部の断層トレースや南端の評価について、大坪川ダム左岸のF-1'孔で確認された破碎部の追加分析等も含めて、地質データの拡充等を行うことにより、根拠を充実させること。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	23	第1009回	2021.10.14	福浦断層南部において、反射法地震探査の実施を検討すること。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	長田付近の断層	24	第1009回	2021.10.14	長田付近の表土はぎ調査①で確認された不整合境界に関する詳細なデータを示すこと。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	富来川南岸断層	25	第1009回	2021.10.14	富来川南岸断層の北東端(Loc.A)の評価にあたり、今田付近の地質データを用いて評価することの妥当性を説明すること。また、地表踏査で得られた露頭データが北東端(Loc.A)の評価に十分であることの説明性を向上させること。	2022.7.29審査会合
陸域 地質・地質構造	富来川断層	26	第1009回	2021.10.14	富来川南岸断層の北東方に位置する富来川断層の評価について、文献との対応や富来川南岸断層との関係も含めて説明すること。	
近傍 地質・地質構造	段丘面	27	第1009回	2021.10.14	能登半島西岸の段丘面高度分布における傾動の有無については、標高のばらつきがあることを踏まえ、評価を行うこと。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	28	第1回 現地調査	2021.11.18 ,19	福浦断層の基礎的なデータとして、福浦断層周辺の地形・地質の状況、大坪川ダム右岸トレンチやボーリングコア等において確認された、断層上下盤に分布する地質や変質状況の違いについて、整理すること。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	29	第1回 現地調査	2021.11.18 ,19	大坪川ダム右岸トレンチにおいて、断層活動による変形がどこまで及んでいるかについて検討すること。また、上載地層や破碎物の性状から考えられる活動履歴の状況について整理し、より詳細な説明を行うこと。	2022.7.29審査会合

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分		No.	コメント		回答	備考
			開催回	日付		
近傍 地質・地質構造	福浦断層	30	第1回 現地調査	2021.11.18 ,19	福浦断層北部のルートマップAで確認された断層aの性状や運動センス等のデータを追加で取得し、福浦断層と比較した検討結果も示すこと。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	31	第1回 現地調査	2021.11.18 ,19	福浦断層の北端と評価されているルートマップD,Eにおいて、追加で地質データを取得し、断層想定位置を横断して地層境界が連続すること等、露頭観察結果を補強するような地質状況の検討結果を示すこと。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	32	第1024回	2022.1.14	大坪川ダム左岸で実施するボーリング調査で、リニアメント・変動地形の位置を十分カバーできるように調査を実施すること。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	33	第1024回	2022.1.14	大坪川ダム基礎掘削面の標高データも含めて、基礎掘削面と追加ボーリングとの平面的・断面的な位置関係が分かるように整理すること。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	34	第1024回	2022.1.14	大坪川ダム基礎掘削面で確認されたNE-SW走向のシームの性状及び福浦断層との関係について確認を行うこと。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	35	第1024回	2022.1.14	追加ボーリング等による地質データの拡充により、確実な南端の評価ができなかった場合は、ルートマップF,Gより南側において反射法地震探査の実施を検討すること。	2022.7.29審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	36	第1064回	2022.7.29	福浦断層の地質調査に基づく傾斜角を示したうえで、地震動評価にあたって設定する傾斜角や、敷地境界及び各々の耐震重要施設からの最短距離について記載すること。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	37	第1064回	2022.7.29	断層上下盤の岩盤中で採取した試料の化学分析値等から、岩盤中に認められる粘土質の物質がどのような物質であるか確認し、説明すること。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	富来川南岸断層	38	第1064回	2022.7.29	北東端の評価について、地質調査で断層が認められなくなる地点を明示したうえで、断層の長さを直線的な重力異常急変部が途絶える地点までと評価した根拠を記載すること。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	富来川南岸断層	39	第1064回	2022.7.29	Loc.Aにおける調査データについて、断層推定位置の周辺に分布する露頭の写真を追加して示すこと。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	地質図	40	第1064回	2022.7.29	地質図において大部分の地域を覆っている火山岩である「穴水累層」については、現在使われている新しい名称を用いること。	2022.9.16審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	41	第2回 現地調査	2022.10.13 ,14	ルートマップにおいて、岩相分布や破碎部等に関する地質学的記載を充実させること。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	42	第2回 現地調査	2022.10.13 ,14	大坪川ダム右岸トレンチから推定される福浦断層の活動履歴等について、北壁面だけでなく南壁面の観察結果も含めて、整合的な説明を行うこと。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	43	第2回 現地調査	2022.10.13 ,14	大坪川ダム右岸トレンチのXRD分析・XRF分析データについて、北壁面の西側から東側へ順に整理して示すこと。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	44	第2回 現地調査	2022.10.13 ,14	福浦断層とその他の破碎部との違いが分かるように、性状、破碎部の幅などの特徴を整理して記載し、福浦断層南部の認定の考え方について整理すること。	2023.7.14審査会合

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分	No.	コメント			回答	備考
		開催回	日付	内容		
近傍 地質・地質構造	断層o	45	第2回 現地調査	2022.10.13 , 14	断層oについて、地形・地質データに基づき、どのような方針で活動性評価を行うのか検討すること。	2022.12.23審査会合
近傍 地質・地質構造	ボーリングコア	46	第2回 現地調査	2022.10.13 , 14	ボーリングコアにおいて、ドレライトや水冷破碎岩の可能性のある箇所について、柱状図に記載すること。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	断層o	47	第1090回	2022.11.11	断層oの活動性評価方針について、変更点とその経緯、データ拡充の目的、評価の論理構成等を明確にすること。	2022.12.23審査会合
近傍 地質・地質構造	断層o	48	第1105回	2022.12.23	地形面の変位の有無による評価にあたっては、データ拡充を行った上で、以下の点について説明を充実させること。 ・断層o及びその延長位置を境に、中位段丘 I 面、高位段丘 I a面及び I b面の旧汀線高度、段丘面内縁標高に有意な高度分布の差の有無について検討すること。 ・断層o及びその延長位置を挟んで分布する地形面の高度を比較する断面について、段彩図、接峰面図を示す等して、断面線を設定する方向の考え方の妥当性を説明すること。	2023.7.14審査会合
近傍 地質・地質構造	断層o	49	第1105回	2022.12.23	断層oの鉱物脈法による評価については、継続的にデータ拡充を実施し、断層の最新面と鉱物脈との関係が明瞭なデータが得られた場合には、その結果を説明すること。	2023.7.14審査会合
海域 地質・地質構造	評価の流れ	50	第1144回	2023.5.12	文献調査を個別断層の段階と連動評価の前段で分けて行っているが、文献調査は最初の段階で一括して整理し、その結果を踏まえ、個別断層の評価及び連動の評価を行うこと。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	追加の連動評価	51	第1144回	2023.5.12	追加の連動評価を行う断層の組合せの選定にあたっては、松田(1990)のルールに基づき離隔距離が5km以内の断層に限定しているが、5kmを超えるものも選定の対象に含めて評価すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	追加の連動評価	52	第1144回	2023.5.12	追加の連動評価にあたっては、国の行った評価結果を踏まえた評価を行っているが、画一的な評価で一律に評価することは難しいため、事業者の整理した考慮事項を踏まえ、個別断層毎にデータを考慮した上で総合的な評価を行うこと。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	追加の連動評価	53	第1144回	2023.5.12	敷地近傍断層の福浦断層と兜岩冲断層についても、5km以内で近接して分布することから、追加の連動評価の検討対象として選定すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	海士岬冲断層帯と羽咋冲東撓曲	54	第1144回	2023.5.12	海士岬冲断層帯と羽咋冲東撓曲の連動評価については、断層面の傾斜方向が逆として連動を否定しているが、国の評価事例等も踏まえて、地表の痕跡だけにとらわれず、深部のデータを確認した上で、連動の可能性について評価すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	笹波冲断層帯(東部)と海士岬冲断層帯	55	第1144回	2023.5.12	海士岬冲断層帯と笹波冲断層帯(東部)の連動評価については、両断層間の詳細な音波探査記録、変位量分布からの検討も追加して、海士岬冲断層帯の北端を明確にした上で連動の可能性について評価すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	笹波冲断層帯(全長)と能登半島北部沿岸域断層帯	56	第1144回	2023.5.12	笹波冲断層帯(全長)と能登半島北部沿岸域断層帯の連動評価については、猿山沖セグメントの南西端付近の屈曲部を震源断層とは評価していないが、屈曲部はB1層に変位・変形が認められることから、この屈曲部も震源断層に含めた上で、連動の可能性について評価すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	重力異常分布	57	第1144回	2023.5.12	各断層の連動評価に用いている重力異常分布図について、解析精度を確認できるよう、重力測定点の位置を図示すること。	2023.10.6審査会合

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分	No.	コメント			回答	備考
		開催回	日付	内容		
海域 地質・地質構造	笹波沖断層帯(西部)	58	第1144回	2023.5.12	笹波沖断層帯(西部)の南西端の評価結果については、No.101.5測線とNo.8測線の間を抜けて連続していかないことを示すデータを整理して説明すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	小断層群	59	第1144回	2023.5.12	小断層群分布域に見られる断層はB1層に変位、変形を与える断層であるが、震源として考慮する活断層ではないと評価した根拠をしっかりと説明すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	石川県能登地方の群発地震	60	第1144回	2023.5.12	2023年5月5日に石川県能登地方で発生したM6.5の地震を含め、当該地方で発生している群発地震について引き続き最新の知見を収集し、資料に反映すること。	2023.10.6審査会合
近傍 地質・地質構造	福浦断層	61	第1168回	2023.7.14	福浦断層南部で確認された福浦断層に対応しない断層について、震源として考慮する活断層ではないと判断した根拠を資料に追記すること。	2023.10.6審査会合
近傍 地質・地質構造	断層○	62	第1168回	2023.7.14	OS-5.5”の薄片①範囲Aについては、活動性評価の主たる根拠となることが確認できた。ただし、薄片内の空隙が活動性評価に影響がないことの資料の適正化を行うこと。 OS-5.5”の薄片①範囲B、OS-7孔の薄片②、③、④については、活動性を評価することができないデータとして位置付けること。	2023.10.6審査会合
近傍 地質・地質構造	断層○	63	第1168回	2023.7.14	段丘内縁標高、旧汀線高度に基づく検討については、大部分が断層○の南端のさらに延長部での評価であることから、活動性評価の主たる根拠とはならないものの、断層変位による変動地形が認められないことから、鉱物脈法による評価結果を支持するデータとして位置付けること。 地形面、岩盤上面の高度の比較については、適切な断面線が設定できないことから、活動性を評価することができないデータとして位置付けること。	2023.10.6審査会合
近傍 地質・地質構造	断層○	64	第1168回	2023.7.14	破砕部性状の比較に用いている敷地内断層の例として、陸域の断層のデータも示すこと。	2023.10.6審査会合
近傍 地質・地質構造	断層○	65	第1168回	2023.7.14	文献調査、空中写真判読による変動地形的調査の結果については、主たる根拠を支持するデータとして位置づけること。 破砕部性状の比較からの評価、福浦断層との切り合い関係からの評価、反射法地震探査の結果については、主たる根拠と整合するデータとして位置付けること。	2023.10.6審査会合
近傍 地質・地質構造	富来川南岸断層	66	第1168回	2023.7.14	富来川南岸断層の北東端の評価について、地質調査の結果から断層はLoc.Aで認められなくなることを確認しているが、安全側に重力異常急変部が途絶える地点を北東端と評価していることが分かるように資料を適正化すること。	2023.10.6審査会合
海域 地質・地質構造	海士岬沖断層帯	67	第1193回	2023.10.6	事業者が笹波沖断層帯(東部)の分岐断層と評価している断層は、地質構造等を踏まえると海士岬沖断層帯と一連の構造と考えられる。また、海士岬沖断層帯の長さについて、文献では専門家の合意形成のもと、18.4kmと評価されている。一方、事業者は海士岬沖断層帯の長さを12.2kmと評価している。文献より短く評価するのであれば、明確なデータを示すこと。	
海域 地質・地質構造	笹波沖断層帯と能登半島北部沿岸域断層帯	68	第1193回	2023.10.6	「連動を考慮している猿山沖セグメント・輪島沖セグメント・珠洲沖セグメント・禄剛セグメント」及び「連動を考慮している笹波沖断層帯(東部)・笹波沖断層帯(西部)」の連動評価の考え方について、「連動を考慮していない笹波沖断層帯(東部)・猿山沖セグメント」との違いを整理して明確に示すこと。	

■ : 回答完了 □ : 今回回答 □ : 次回以降回答

区分		No.	コメント			回答	備考
			開催回	日付	内容		
海域 地質・地質構造	連動の検討方法	69	第1193回	2023.10.6	事業者が連動評価を行うにあたり、地震調査委員会による長期評価を参考としてとりまとめているが、事業者は地震調査委員会が当該評価で連動と扱っていないものも連動と記載しているため、当該評価に合わせて記載を見直すこと。また、事業者としての連動の定義や地震動評価における断層モデルの設定方法について整理して示すこと。		
海域 地質・地質構造	福浦断層と兜岩冲断層	70	第1193回	2023.10.6	上記コメントNo.69で整理した内容を福浦断層と兜岩冲断層の連動の検討結果に反映すること。		
海域 地質・地質構造	砺波平野断層帯(西部)と高岡断層と富山湾西側海域断層	71	第1193回	2023.10.6	砺波平野断層帯(西部)とその北方に近接して分布する高岡断層について連動の検討対象として選定した上で、検討結果について説明すること。また、その結果を踏まえて、さらに北方に分布する富山湾西側海域断層との連動の検討結果についても説明すること。		
海域 地質・地質構造	能登半島東方沖の断層ほか	72	第1193回	2023.10.6	能登半島東方沖の断層のように、複数の文献の中から、他の文献よりも短い断層長さを示している文献に基づいて長さの評価を行う場合の考え方を記載すること。		
海域 地質・地質構造	ひずみ集中帯	73	第1193回	2023.10.6	敷地周辺の断層の評価の基礎情報として、文献に示されているひずみ集中帯の分布を示すこと。		